

岩泉町の畜産農家へ牧草ロールを支援

当会社などが組織する「いわてコントラクター等利用推進協議会」では、台風10号被害への支援の一環として、牧草ロールを岩泉町に届けました。

- 10月6日、90cm径の牧草ロール10個を岩手県農業公社のトラックで、岩泉町小本の大牛内育成牧場に届けました。
- この牧草は、いわてコントラクター等利用推進協議会が種山牧野で行っている牧草ダイレクトカット実証試験に使用するためつくったものです。
- 種山牧野に残る20個と、花巻市二枚橋町の岩手県農業公社整備工場敷地内にある20個の合わせて50個の牧草ロールを、今月中に大牛内育成牧場に届ける予定です。
- 岩泉町ではまだまだ牧草が不足していますので、少しでも役立ってもらえれば幸いですし、この支援の輪が全県に広がることを期待しています。



(牧草ロール10個を届けました)



(二枚橋町にある牧草ロール)

※ いわてコントラクター等利用推進協議会：県内の畜産農家へ、低廉・安全な飼料を安定的・効率的に生産・供給するため、関係機関等が連携し、本年6月8日設立。現在の構成団体は、(公社)岩手県農業公社、全農岩手県本部及び岩手県。

※ 牧草ダイレクトカット：天候に左右されず牧草の収穫作業を行うため、牧草を刈り取って直接サイレージにするもの。(普通は、刈取り後乾燥してから集草梱包する。)

担当：(公社)岩手県農業公社 農地整備部

(TEL：0198-26-1200、担当：佐藤)